水稲育苗箱用殺虫殺菌剤

農林水産省登録　第24516号

ワイドスペクトラムの新規成分オキサゾスルフィル含有。

その効果まさに名人級

稲名人®

箱粒剤

WCS用稲にも使えます！

高密度は種にも使用可能！


トビイロウンカ


ヒメトビウンカ


セジロウンカ


イネツトムシ


フタオビコヤガ


ニカメイチュウ


コブノメイガ


ツマグロヨコバイ


イネドロオイムシ


イネミズゾウムシ


イネカメムシ


イナゴ類


いもち病

有効成分が幅広い害虫に

Oxazosulfyl

オキサゾスルフィル

稲名人® は協友アグリ(株)の登録商標

水稲育苗箱用殺虫殺菌剤

稲名人®
箱粒剤

特長

① **新規成分**が既存の殺虫剤に抵抗性を持つ害虫にも高い効果
② **1つの殺虫成分**で幅広い害虫に優れた効果
③ **いもち病**にも高い効果
④ **2成分**で**主要害虫**と**いもち病・細菌性病害**の防除可能
⑤ **は種前**(床土混和覆土混和)**から移植当日**まで使用可能

有効成分: オキサゾスルフィル……2.0%　イソチアニル……2.0%　　人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサゾスルフィルを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ **フタオビコヤガ**	1kg/10a	移植時	1回	側条施用	1回	3回以内 (直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
稲(箱育苗)	いもち病、白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ、ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ、イネツトムシ コブノメイガ、イナゴ類 イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する		3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
		＊1					
		育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	は種時(覆土前)～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する		
	苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する		
		＊1					
		育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	は種時(覆土前)				
	カメムシ類 **イネカラバエ**	＊1	移植当日		育苗箱の上から均一に散布する		

＊1 高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50～100g)

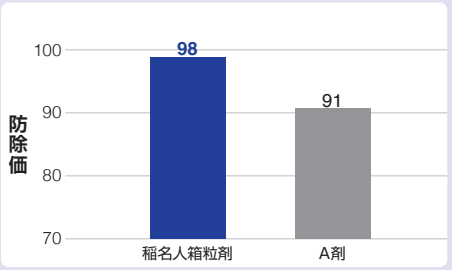
2026年9月現在の登録内容

被害防止方法(薬剤調製者・散布者)　稲:不浸透性手袋

試験成績

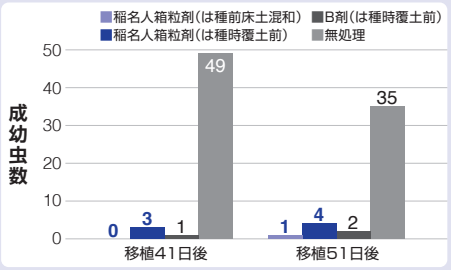
いもち病(葉)

試験場所　青森県産業技術センター農林総合研究所(2017年)
品　種　ゆめあかり
播 種 日　4月17日
移 植 日　5月22日
処理時期　は種時(覆土前)
発生状況　多発生(接種)
調 査 日　7月26日(移植65日後)
調査方法　各区30株について発病株数および所定基準に基づいた病斑面積率別株数を調査し、そこから算出した病斑面積率の平均値より防除価を算出



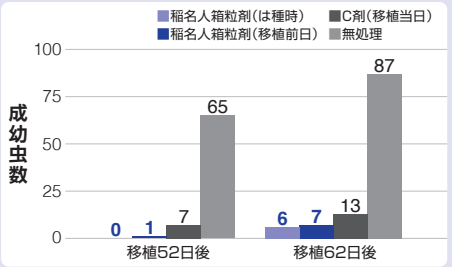
イナゴ類(コバネイナゴ)

試験場所　協友アグリ株式会社(長野)(2018年)
品　種　風さやか
播 種 日　5月9日
移 植 日　5月29日
処理時期　は種前床土混和およびは種時覆土前
発生状況　少発生(自然発生+放虫)
調 査 日　7月9日(移植41日後)
　　7月19日(移植51日後)
調査方法　捕虫網による計30回の掬い取りにより虫数を調査



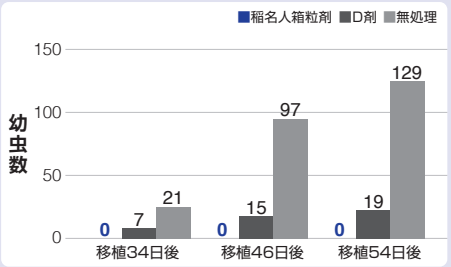
ヒメトビウンカ

試験場所　シンテック・リサーチ・ジャパン株式会社福岡試験地(2016年)
品　種　ヒノヒカリ
播 種 日　5月25日
移 植 日　6月17日
処理時期　は種時覆土前および移植当日
発生状況　少発生
調 査 日　8月8日(移植52日後)
　　8月18日(移植62日後)
調査方法　計60株について粘着板への払い落し法で虫数を調査



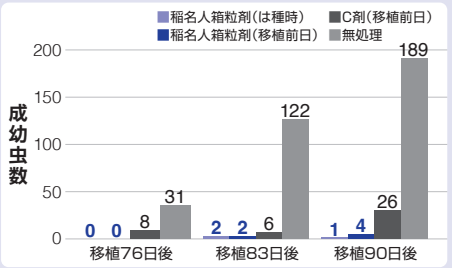
イネツトムシ

試験場所　愛媛県農林水産研究所(2017年)
品　種　松山三井
播 種 日　6月2日
移 植 日　6月23日
処理時期　移植当日
発生状況　少発生
調 査 日　7月27日(移植34日後)
　　8月8日(移植46日後)
　　8月16日(移植54日後)
調査方法　計1,050株について幼虫数を調査



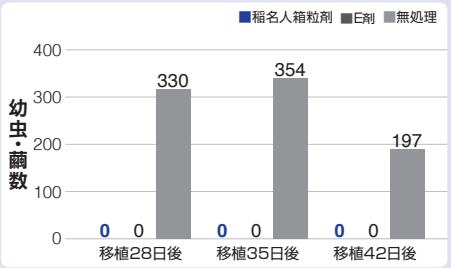
トビイロウンカ

試験場所　鹿児島県農業環境協会植物防疫部会(2016年)
品　種　ヒノヒカリ
播 種 日　5月27日
移 植 日　6月17日
処理時期　は種時覆土前および移植前日
発生状況　少発生
調 査 日　9月1日(移植76日後)
　　9月8日(移植83日後)
　　9月15日(移植90日後)
調査方法　計120株について粘着板への払い落し法で虫数を調査



イネドロオイムシ

試験場所　日本植物防疫協会山梨試験場(2017年)
品　種　コシヒカリ
播 種 日　4月28日
移 植 日　5月19日
処理時期　移植当日
発生状況　中発生
調 査 日　6月16日(移植28日後)
　　6月23日(移植35日後)
　　6月30日(移植42日後)
調査方法　計200株について虫数(幼虫・繭)を調査



注意事項

〈薬効・薬害等の注意〉

■本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用してください。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないでください。
■育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
■育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
■側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
■軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
■本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
■いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。
■きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
■本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

〈安全使用上の注意〉

■吸入すると有害です。アレルギー性反応を起こすおそれがあります。粉じんの吸入をさけ、屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息をさせてください。気分の悪い時は医師の手当を受けてください。
■水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
■直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。　●ラベルの記載以外には使用しないでください。　●小児の手の届く所には置かないでください。　●空袋は圃場等に放置せず適切に処理してください。

2026年9月作成 東宣 P1202609001

JAグループ 農協 全農 経済連
全農 登録商標　第4702318号

協友アグリ株式会社
東京都中央区日本橋小網町6－1
https://www.kyoyu-agri.co.jp